

正體閑心

題字 心閑體正 揮毫 今治市日吉小教諭 友近 将道 解説は3面



発行所
(公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスポワール愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

学校評議員に思う



元 愛媛県教育研究協議会副会長
阿部 晋

私は五年前から地元中学校の学校評議員を委嘱されている。

この学校評議員制度は中央教育審議会答申を受け、学校教育法施行規則の改正により、平成十二年から施行されたものである。この趣旨は、学校・家庭・地域が連携協力し子どもの健やかな成長を担っていくため、地域に開かれた学校づくりをより推進する観点で設置されたものである。

- (2) 学校紹介 角野小学校
- (3) ふるさとに生きる
- (4) 私のおもしろ・特技
- (6) 日連教長野大会提案要旨
- (7) 「えひめ教育の日」の取組
- (8) ふるさとスケッチ

重ねたことを思い出す。私は、常に学校、家庭、地域との連携の必要性を痛感しており、毎年、学校経営方針に「家庭・地域との支援システム構築」を掲げていた。そのため、この制度の導入は、私の学校経営にとっては力強い存在になった。学校教育は時代とともに価値観の多様化や教育内容の深化等により、次の時代を担う児童生徒の教育には、学校だけではその目標を達成することは難しくなってきた。地域や家庭との連携や支援がますます重要で、そのことは今も誰もが共通理解をしているところであろう。私自

身今まで家庭や地域の人たちに支えられて職務を遂行してきたが、これからは逆に私が、学校を支えるお手伝いをさせてもらおう立場であることを自覚して評議員をしている。

学校が説明責任を十二分に果たしていることで、学校の実態や課題が理解できるし、学校訪問する度に生徒の成長している姿が見られ、学校が地域の子どもの教育に全力で取り組んでいる姿に感心している。また、地元の小中の連携による評議委員の会合も定期的に実施されるなど、学校に開かれた学校づくりが展開されていることに地域住民の一人として感謝もしている。学校に対する単なる批評家ではなく、先生や地域住民と共に地域の教育力を高めるために活動する学校評議員でありたいと常に思っている。

一略 歴

- (あべ・すすむ)
- 昭和40年 愛媛大学教育学部卒業
- 昭和48年 メキシコ日本人学校 教諭
- 平成7年 県教委文化財保護課係長
- 平成12年 松山市立番町小学校 校長
- 平成18年 愛教研事務局 局長
- 現 県教育会
- 積立年金経営委員会 委員長

響びょう聞きん

今夏は例年にならない暑さが続き、その上、早い梅雨明けが重なり、暑さも倍加した。夏休みも終わり、

学校に子どもたちのにぎやかな声が戻ってきたことでしょう。二期は、運動会・文化祭など学校行事が目白押しである。▼中でも、運動会は子どもたちにとっては思い出に残る学校行事である。しかし、最近、開催時期が春と秋に分かれていく。その背景には、熱中症対策が一つの理由としてあげられる。その影響から、内容も精選され簡素化の傾向にある。歳時記的に運動会は「秋の行事」である。▼従来から、体育の日の前後に秋晴れの澄みきった青空の下、運動会の目的である「協力・調和・連帯感・団結力」などが養われてきた。▼今夏も世界陸上や高校球児の甲子園大会などのスポーツの祭典が開催され、見る者に深い感動を与えてくれたことでしょう。▼体育的行事が子どもたちにとっていつまでも心に残るものになることを願っている。

ひとこと

「ひょうじ」ではなく「ひょうじょう」を



愛媛県小中学校長会
会長
酒井 平雄

六十年間生きてきて思うことがある。それは江戸時代なんて、そんなに昔ではなかったということ。自分も普通に生きればあと二十年くらいはこの世界に存在するはずだ。少し頑張れば百歳くらいまで生きるかもしれない。

仮に今すぐあちらに逝ったとしても、織田信長より十一年も長く生きたことになるから、それはそれでいいと思う。江戸時代が終わって、まだ百五十年くらいしかたっていない。長く生きていけると、月日が過ぎるのがどんどん速くなるが、一方で歴史との距離を短く感じるようになった。見知らぬ土地に行くとき、できるだけ寺を訪ねる。そして、

墓を見て回る。「寛永」とか「享保」とか墓石に刻まれた文字を眺めながら勝手に当時の様子を想像するのが楽しい。

井上陽水は「夏祭り」で「十年は一昔」と歌った。別に陽水が言い出したことではないけれど、どこかでそれを信じてきた。だが、それは正しいようで正しくない。なぜなら自分が体験した六十年はあつという間だったからだ。おそらく、残りの人生もそう感じるだろう。

どうせ短く感じる人生ならば、何かができないことをやってみよう。できれば人のためになることをやってみよう。でも、ある人が「良い行いは、目立たないようにやるべきだ」と述べていた。その通りだと思う。しかし、目立ちたいの私にそれが守れるだろうか。いや、守ろう。だが、誰かに知っておいてほしいという思いもある。「だからあなたはダメなの」と言われそう。ごもつとも。

(愛南町立御荘中学校長)

学校紹介

No.141

新居浜市立角野小学校

ふるさとを誇りに思う子どもを育てる
別子銅山の遺産巡りを通して

「学年が上がるにつれて、将来、新居浜に住みたいと思う子が減ってきている」

三年前に子どもたちにつけたアンケート結果はこの事実を示していた。原因を教育面に限定して考えてみると

「我々は、子どもたちがふるさとを愛するような授業や活動をしてきたのか」ということになるかもしれない。

もつと、子どもたちが心の底から「ふるさとっていいなあ」と思えるような活動を仕組まないといけないと考えた。

本校の校区には、別子銅山関係の遺産がたくさんある。新居浜の礎を築き、発展に尽くした先人がたくさんいる。これを取り上げた活動に、官

民合わせた多くの人たちが熱心に取り組まれている。多くの人たちの力を借り、自分たちのふるさとをアピールすべきだと考えた。

本校には「角野小タイムト

こういった取組に対して、二年前に観光庁長官賞をいただいた。

新居浜市は子どもたち、親世代、退職世代など多くの年代の方たちが「別子銅山」というふるさとをシンボルを核に据えたまちづくり、全ての人たちが「居場所」と「生きがい」をもてるような仕組みづくりをめざしている。

本校でも、その一翼を担っていきな子どもたちを育てていきたいと考えている。



(教諭 戸井 和彦)

題字に寄せて

心閑體正



小吉市日論 友近 将道

今回、題字を執筆させていただくことになり、「心閑體正」と揮毫することにした。「心閑體正」は、中国戦国時代の思想家、列子が「湯問」という書物で用いている。「心が穏やかで、姿勢も正しい」の意である。

私は、幼少のころより、書に親しんでいる。筆を執るときは心が落ち着く。平常心で心が安定していると、スムーズに事を成すことができ、自分の力を発揮できると信じている。

子どもたちに大きな影響を与える教師。自らが心穏やかに生き生きと前向きな姿勢で取り組み、少しでもその大切さを子どもたちに伝えることができればと思っている。

ふるさとに生きる No.72

米寿を過ぎても

まだまだ現役！



曾根一雄先生

風香る五月末に、内子町の町並み保存地区の一面にあるお宅を訪問しました。

明治初期から生菓商を営まれていたお住まいは、まさに伝統を感じさせる建造物でした。

先生は、長浜町立(現大洲市)長浜中学校長を最後に退職。その後、教育事務所の社会教育推進員をされた後、内子町教育委員会に所属され、十九年間にわたり、人権教育の推進にご尽力されてきました(平成二十三年度人権同和

教育推進功労者知事表彰・平成二十四年度瑞宝双光賞受賞)。八十九歳になられた現在も、年に五回ほどは、講師

訪問者 中尾 秀信

(内子町立内子中学校長)

を務めておられます。

実は、私が訪問した翌日には、町人権教育協議会総会が行われ、総会後に「人権・同和問題の解決は、わが心在り」と題して、ユーモアを交えながら講演をされていきます。講演の中で、次のようなことを話されていました。

人は、誤った風評をまき散らす。出所の分からぬことを軽く発言する。差別はどこにあるか。自分の心の中にある

はしないか。広い心で、広い道を進みたい……。肝に銘じて歩みたいものです。

現役として活躍されている秘訣をお尋ねすると、次のようなことを挙げられました。三度の定時食と、腹七分目。特にこれはといったことはせず、新聞を読んだり原稿を書いたり……。

座右の銘は、強いて言えば、「言ったことは必ず守る」だそうです。例えば、「〇〇時頃伺います」といった曖昧な行動ではなく、約束した時刻



に行くことを、心がけておられるようです。私が訪ねた時も、定時に待っていてたいて

いました。後進へのメッセージをお尋ねすると、「一人一人を大切にしている優しい教師に」と言われました。

今も、年に数回は東京に行かれる機会があるとの由。そのエネルギーに感服する次第です。今後も、私たち現職の者や地域住民のために、ご示唆をいただければ幸いです。ますますのご活躍、ご健勝をご祈念申し上げます。

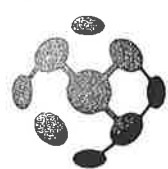
曾根 一雄先生(89歳) (内子町内子在住)

文教俳句

一俳句ポストより一 春光にやさしくひびく者の鐘 約束の春まだ遠し旅の夢 寒風に黄色帽子の登校生 道ばたの白うんどうぐつや走った日 三味絶えて寒月高き故郷の宿

松山市 川口 和虎 松山市 高橋 靖夫 西条市 蓮見 和 東京都 隆夫 大洲市 鎌田 文俊

オフィスのことは何でもご相談ください。



AGUSAS AGENT FOR USERS WITH SUPPORT AND SOLUTIONS

株式会社アグサス

http://www.agusas.com

特集 私の趣味・特技

楽しく走っています



小砥部町 教諭 吉信 山下

私の趣味は、走ることです。

最近では、マラソンブームで、走っている人をよく見かけます。いつでも、どこでも、人それぞれの楽しみ方ができることが人気の理由かもしれません。私の楽しみ方を紹介します。

一つ目は、走りながら、見て・聞いて・感じることで「この道は、どこにつながつているのだろう。」「こんなところには、こんな物が。」好奇心をくすぐられ、ついつい足がそつちに向きます。走るコースは、前もって決めていません。気の向くままに走ります。また、鳥の鳴き声や道端に咲いている花など、四季折々の自然も私を楽しませてくれます。夏の暑い日も、

自然と健康を求めて



四国中央教育会 O.B 園尾 和季

早朝のひんやりとした空気の中を走るのは気持ちのいいものです。星をながめながら走るのも最高です。何も考えずに、ゆっくり、のんびり走ることで、体の中のいろいろな部分で覚醒するようで、本当にリフレッシュできます。

二つ目は、記録への挑戦です。私は毎年、愛媛マラソンに出場していますが、記録の更新を目指してトレーニングに励むことで、充実感や満足感を味わっています。マラソンは、非常に奥が深く、工夫次第で年相応の結果を出すことができます。今年、四十九歳になりましたが、「還暦で自己新記録」などと、大胆にも夢見ています。そんなことを考えることも、楽しみの一つです。

走るこの魅力を語ればきりがないのですが、最後に忘れてはならないのが、走った後の一杯。やっぱりやめられません。

自然のやさしさ、そして厳しさをもち山々のある日本に生まれ、近くに山のある四国で暮らしていることを「よかった!」と思う日々である。

登山が好きになったのは中学時代の先生の影響である。中学二年の時に先生が近くにある二上山に連れて行ってくれた。その時に、山頂より仰ぎ見た夕日の美しさに感動したことを、今も覚えている。

だが、そのことを常々意識してきたわけではないが、登山の話が出ると迷うことなく参加している自分があった。けれども、継続して山登りをしてきたわけでもない。学生時代にはアルバイトで得た貴重なお金をつぎ込み、可能な範囲で登っていた。そして教員時代には、公民館行事に参加し子ども達とハイキングを楽しみ、またPTA活動で

は、高学年児童たちとの登山を計画して、楽しんできた。

そして、完全退職後には水を得た魚の如く、地域の登山クラブに入り、リーダーについて少しずつ再開し、現在に至っている。

そんな今、「しんどいのにどうして登るの。」と思いつつも、やつと登頂した日本百名山は四十八山、四国百名山は五十七山である。

これからも命と山がある限り、登り続けることができるように、体力低下を防ぐための努力もしていきたい。

芽吹きの春、光に包まれた夏、山肌に紅葉をまとう秋、折々に山の姿を変える四季。そんな自然と健康を求めて、今後も、山登りを趣味として人生を歩んでいきたい。

「結願」目指して



小砥部町 市番頭 教諭 利亮 日野

「多芸は無芸」ということわざがありますが、まさしく

私自身がそうであると、常日頃から感じています。子どもの中から、いろいろな事に興味をもって首を突っ込むもの、すぐ飽きてしまったり、挫折してしまったりで、特に自慢できるものがありません。恥ずかしい限りです。

そこで、昔、某知事がよく使っていました「どげんかせんといかん」を心の中で唱え、最近よく子どもたちが使う「いつやるの?今でしょ!」精神で、この夏はぜひ「結願」に挑戦しようと考えています。

「結願」とは、四国八十八か所をすべて廻り切ることです。私が四国遍路を始めたのは、十年くらい前です。：未だ二十一か所も残っています。：。丁度その頃、多芸の一つ、大型自動二輪免許を取りましたので、バイクで四国遍路に挑戦しようと始めました。

初めて訪れた札所が松山にある浄瑠璃寺です。その後数年間は近場を中心に一気に巡りました。善通寺のように、広大な敷地に驚かされる寺院もあれば、山の中にひっそりとたたずむ味わいのある寺院も

あります。歩き遍路で巡礼されてお遍路さんやお寺にそびえる大木に出会うと、謙虚な気持ちにさせられます。また、霊場に向かう道すがら、ちよつとした小旅行気分も味わえます。今年には弘法大師御開創千二百年記念の年ということで、「どげんかせんといかん」やるのは、今でしょ」精神で、今年中に「結願」を達成しようと考えています。

コンピュータと二十年



小永近町北教 古谷 孝

わたしが、コンピュータを初めて購入したのは平成三年であった。それまで、ワープロを使っていたわたしは、ワープロにデータベース機能が付くなど、その多機能を楽しんでいた。愛用のワープロが故障し、買い替えを考えたと、同じ職場にいた先輩から「いろいろなことに利用したければコンピュータに変える方がいい」とアドバイスを

受け、コンピュータを購入することにしました。当時一セット六十万円。二枚のフロッピー（今は見られない五インチ）を入れ、カタコト、カタコトと音を立てて仕事をこなす。実のんびりとしたものであった。しかし、この「機械」にわたしははまった。次々と課題が生まれ、「こんなことできないか。」「こうしたらできるよ」とうになるのではないかと、それを克服していくことが楽しくなりました。機種変更も多く、高額なマシンを購入することができず、自分で部品を購入して組み立てたこともあった。自ら課題を見つけ、自ら学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する。まさに総合的な学習の時間であった。それは、仕事にも役立つ楽しい時間であった。

この二十一年間で想像もしなかった進歩を遂げたコンピュータは今やネットワークを中心に使用され、学校になくはない「道具」となった。いろいろな問題はあつるにしろ、この便利な道具と縁を切ることはとうていできそうにない。

一人暮らしの猫ウオッチング



小岡市飯条西教 山下 沙弥加

猫を飼えない私の猫ウオッチングには、大きく分けて二つの方法があります。一つ目は「偶然の出会いを待つ」というものです。慣れてくると、彼らのいる場所が自然と分かるようになってきます。彼らを見つけたとき決して「わー、きゃー」と興奮を表に出してはいけません。彼らは野生の血を残していますから、見つかったことに気付くと、すぐに逃げてしまいます。喜びを隠し、目を合わせないように気を付けながら近づきます。そうして、横目でちらちらとウオッチングするのです。二つ目は「飼い猫との出会いを作る」というものです。完全に室内飼いの子とは、なかなか出会うことはできません。しかし、私には、年に一度、よそ様の家に堂々と上がり込むチャンスが訪れます。そう、家庭訪問です。子どもたちの普段の会話、日記、手足の傷などにより、どのご家庭に猫がいるかは、把握することができます。見当たらない場合には「猫ちゃんがいるんですよね」と声をかけると、大抵の場合、快く見せてくださいます。ここでの注意点は「猫にだけ興奮すべからず」です。猫のときと同じように、犬にも、カメにも、金魚一匹にだって、同じように興味を示さなければなりません。公私混同をしないのが猫ウオッチングのマナーなのです。このように私は、日々、猫を見ることを楽しみに生きています。万が一、同好の方がいらしたら、ぜひ、お友だちになりたいです。本校までご連絡ください。

文教俳句

一俳句ポストより

通院の初夏の路ゆく老夫婦
久々に伊予の上ふむはなみづき
若葉萌えピアノのしらべに心燃え
麦秋や登校帽子並びをり

西予市 兵頭 昇
三重県 中山 芳子
松山市 山本千恵美
内子町 小野植元幸

学校生協

眼鏡市場提携のご案内

愛媛県学校生活協同組合連合会は眼鏡市場と提携店契約を結んでおります。

組合員の皆様は学校生協のクーポンチラシを店頭にご持参頂きますと、現金もしくはクレジットカードでお買上げの際に5%割引が適応されます。

(補聴器は5%割引の対象から外れます。)



お問い合わせは 愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089-925-0555)
または 郡市学校生活協同組合

学校生協

ガソリンカードご入会のおすすめ

学校生協ではエネオス・コスモの2社とガソリン事業の提携をおこなっております。

カード会員価格にてガソリン・軽油を県内はもちろん全国の給油ステーションでご利用いただけます。

エネオスステーション：全国9,900か所
コスモステーション：全国6,700か所

お問い合わせは 愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089-925-0555)
または 郡市学校生活協同組合

日連教長野大会分科会提案要旨

道徳教育と人権教育とを関連付けた全校体制の取組 〜「つながり」をキーワードとした道徳の授業を要として〜



西条市立東予西中学校
教諭 秋川 雅与

一 はじめに

本校は、石鎚山と燧灘とに囲まれた、自然豊かな地域にあり、全校生徒一九〇名の小規模校である。

本校区では、伝統産業の手漉き和紙製造が現在も営まれており、自然環境・人的環境ともに恵まれている。手漉き和紙に携わる地域の方に御指導をお願いし、三年生は自分の卒業証書を夏休みに漉くなど、体験を通じた地域の方との交流も本校の特色ある取組の一つと言える。

二 研究のねらい

道徳教育の内容項目と人権教育の諸価値を位置付け高めることが、相互の充実を促進し、そこから具体的な授業展

目に人権教育との関わりを明示し、年間で二十四項目を学習できるように、年間計画を改訂した。

(三) 道徳の授業における人権教育の目標設定

「自分の中にある良質の芽」を育てるため、「自分の中にある差別をなくすよさに気付く」目標をもたせた。

(四) 道徳プロジェクトチーム

校長、研修主任、道徳教育推進教師(兼道徳主任)、人権・同和教育主任、道徳事業推進担当者(各学年一名)等をメンバーとし、プロジェクトチームを設置した。また、道徳プロジェクトの時間を確保できるように教務主任の協力も得た。

(一) 研究の仮説

道徳の授業の中に人権教育の視点を明確に位置付けることにより、生徒の自己肯定感が高まるであろう。また、「つながり」をキーワードとすることにより、その手段である言語活動も活性化し、道徳的価値の自覚が深められるであろう。

(二) 道徳の時間における人権教育の視点のもち方

道徳の時間の全ての内容項目
イ 部活道徳
ウ 感謝ノート
エ あいさつ運動

オ 体験活動との連携
カ 言語活動の充実
授業の実際

(六) 授業の実際

ア 三体制での授業実施
イ アンケート調査
ウ 資料の開拓・資料提示の工夫
エ 言語活動の向上を目指した取組
オ 研究協議のもち方
生徒が話し合い聞き合う中で「つながり」を深めていったことから、ワークショップ形式の研究協議を取り入れた。

四 研究の成果と課題

(一) 成果
ア 道徳の授業の時間が確保され、確実に実施できた。
イ 体験活動と道徳の時間を意図的に連動させることで道徳性の涵養や自己肯定感の向上に効果的であった。
ウ 道徳の時間を確実に行うことで、人権教育も推進された。
エ 教員同士ともに授業を実施する中で、各自が授業を省察する機会を得られた。そのことがよい道

(二) 課題
ア 言語活動の充実を目指した取組を継続する。
イ 道徳の時間での発問や展開の研究を深める。
ウ 全校体制での指導を継続する。
エ アンケートや授業公開などを通じ、生徒の実態把握とともに、保護者や地域との双方向の連携に努める。

徳の授業づくりへの動機付けとなり教師の指導力が向上した。

文教のいもたき会ピアホール

メニューもますます充実

・お一人様(食・飲み放題) 3,000円

・9月 25日(水) 26日(木) 27日(金)

お申込みは (089) 945-8644

エスポワール文教会館へ



県民への一層の普及・啓発を！ 六年目を迎えた「えひめ教育の日」

県民総ぐるみで愛媛の教育

について考え、語り合い、行動する日「えひめ教育の日」は、平成二十年五月十三日に制定されて、六年目を迎えます。この運動の趣旨の再確認と県民への一層の普及・啓発を図るため、次の取組を行います。

十一月一日は、「えひめ教育の日」です!!

「えひめ教育の日」推進大会
～愛顔いっぱい、えひめっ子～

えひめ若年人材育成推進機構との共催

- 一 日時 11月1日(金)13時～
- 二 場所 エスポワール愛媛文教会館
- 三 記念講演 大谷由里子氏(人材活性プロデュー)

祝 受賞おめでとうございます

瑞宝双光章 (高齢者叙勲)	越智 清様	88歳	元玉川町立玉川中学校校長	今治市
	山田 照男様	88歳	元久万町立久万中学校校長	松山市
	渡邊 弘様	88歳	元今治市立日高小学校校長	今治市
	野戸 司郎様	88歳	元大洲市立大成小学校校長	大洲市
	大川 實様	88歳	元広見町立近永小学校校長	鬼北町

「えひめ教育の日」推進フェスティバル
～みんなで育てる 教育の芽～

- 一 日時 10月27日(日)13時～
- 二 場所 坊っちゃん劇場(東温市)
- 三 推進フェスティバル

- ・開始式
- ・わが街 わが校 わが家の自慢!
- ・小学生の和太鼓
- ・中学生のダンス
- ・中学生の吹奏楽演奏
- ・高校生の書道パフォー
- ・マンス
- ・東温市内の獅子舞
- ・マンダリンパイレーツ等
- ・応援出演



☆「教育の日」関連写真の募集

推進テーマ「愛顔いっぱい えひめっ子」に沿ったもので、PTA主催(協力)により夏季休業中等に実施する行事等の写真を募集しています。

- ・親子参加の行事
- ・地域住民参加の行事
- ・防災教育、奉仕・体験活動、キャンプ、学習会の行事など
- ・表彰、写真展(県庁ロビー、文教会館、文教月報)

◆九月十三日までに、えひめ教育の日推進会議事務局(松山市祝谷町一―五―三三)へ。

◆写真の送付方法
現物またはCDを郵送、メール送信可

(info@ehime-kyouikukai.jp)

※詳細はホームページを参照
☆「えひめ教育月間」関連事業

- ・各地域や学校で実施予定(昨年度一、三一四件。県市町のホームページ参照)

ローカルトピックス

高光の二宮金次郎像

高光小学校の正門から、坂道を駆け上ってすぐのところ、薪を背負いながら読書をする金次郎像に出会えます。静かな立ち姿は、学校設立明治二十五年からの地域の方々の思いを脈々と引き継いでくれているようにも見えます。



今ではあまり見かけなくなった金次郎像ですが、昭和十一年校舎新築を記念し、その翌年建てられました。人々の心に影響を与えてきた金次郎さんの「勤儉力行」の行い・教えは、高光の子どもたちにもよき教訓になるだろうという願い・思いが込められています。しかし、その時の銅像は、戦争に使われ、人々は知恵を出し合、そのかわりにと、陶像を作りました。それから、昭和四十一年には、再び銅像を作ろうという話になり、現在あるのはその時のものだそうです。文字が刻まれている台座部分は、昭和十二年作成のま

足跡をつづる、私を記す、形に残す。
あなたが主人公のドラマを未来に伝えませんか。

本づくり 応援キャンペーン

- 規格・装丁のご提案
- 編集方針のご提案
- レイアウト見本のご提示
- 原稿作りのアドバイス
- 予算のお見積り
- その他、ご相談承ります。

◎書店での販売をお考えの方も是非お声かけください。
ご注文・お問い合わせ 印刷営業部 TEL (089)945-0112 FAX (089)947-6073

SEKI セキ株式会社
松山本社/松山市湊町7丁目7-1 TEL(089)945-0111
東京本社/東京都渋谷区代々木3丁目2-9 TEL(03)3377-1230
支店/大阪・高松 営業所/名古屋・福岡 http://www.seki.co.jp

まだそうです。
激しい時代の流れの中、大切なものを金次郎像は未来を担う子どもたちに伝え続けているようです。

文教月報編集協力委員 古谷 久代
宇和島市立高光小教頭

ふるさとスケッチ

No.359

石鎚の峯



西条市東予東中
校長
目見田康介

「雲は湧く 石鎚の峯 仰ぎつつ 共に学びて 若人の協す力に 東よりみなぎる光 栄えあれその名 我

日々たくましく育っている。

等の東中学校」

本校校歌、三番の歌詞である。この石鎚の峯は、本館校舎から真南に、眺望することができる。西条市が、歌詞に

「石鎚」が入った校歌を県内の小学校から大学まで調べた結果、計一〇六校あることを確認したという。子どもたちは、朝に夕に石鎚を仰ぎ、石鎚のごとく、高く大きい希望とふるさとへの誇りを胸に、

ご冥福をお祈りします

大野 重高様	91歳	松山市辰巳町一七	25	4	2
久賀 輝雄様	83歳	四国中央市川之江町一〇七二五	25	6	6
勝田 利雄様	91歳	松山市中島町大浦七〇〇	25	6	8
和田力ズ子様	81歳	松山市ひばりヶ丘九三三	25	6	8
菅 高子様	85歳	西条市丹原町北田野一五二	25	6	8
村上留次郎様	89歳	今治市菊間町佐方七	25	6	12
郷田金一郎様	88歳	伊予郡松前町大間二〇一	25	6	16
千葉 峰子様	101歳	新居浜市船木四三	25	6	16
一柳 寅夫様	87歳	四国中央市上分町五三	25	6	17
伊賀上 恵様	88歳	伊予郡松前町恵久美七〇五一	25	6	25
稲葉 茂義様	83歳	宇和島市吉田町南君二〇七六	25	6	30
南 君子様	85歳	四国中央市曾根町一六〇六二	25	7	1
宇野 農夫様	90歳	松山市下伊台町二五〇	25	7	3
工藤ミエ子様	91歳	南宇和郡御荘平城三三三	25	7	4
中村 明様	83歳	伊予郡砥部町川登六	25	7	13
白石 一郎様	79歳	大洲市柚木七三一	25	7	13
渡辺 貞敏様	92歳	西条市明屋敷七	25	7	13
渡邊 公介様	83歳	四国中央市曾根町一四四一五	25	7	19
門田 宏様	93歳	伊予市下吾川一七七一	25	7	25

お知らせ

俳句 募集中

二十五年年度愛媛県教育会俳句（一般、小中学生）を募集中。応募は十月四日（金）までに。詳細は愛媛県教育会ホームページまたは文教月報四月号をご覧ください。

第一回会長・事務局長会

- 六月十四日（金）、地区教育会長会・事務局長会を開催。
- 二十五年年度教育会活動方針
- 日連教長野大会概要
- 各地区教育会の活動状況等を協議。

◆青少年育成基金（松山青果



株による『愛のあるバナナ』寄付金で図書購入費等に充当）二一七、〇六二円の配分先は西条、東温市、宇和島・内子の四教育会に決定した。

愛媛県教育会理事会、評議員会

五月十六日（木）の理事会、六月三日（月）の評議員会において、平成二十五年一月八日から三月三十一日までの事業報告並びに決算の承認がなされた。

第一回代表者会・研修会

六月二十八日（金）の代表者会・研修会では、県教育会の公益財団法人としての取組説明に続き、文化放送清水克彦



教職員の皆様のための「教弘保険」

- 34歳までは「ユース教弘」
- 35歳からは「新教弘保険」

ジブラルタ生命保険(株)は公益財団法人日本教育公務員弘済会の共済事業(提携保険事業)の提携会社として、60年以上にもわたる提携を通じて教職員の皆様の福祉向上のお手伝いをさせていただきます

ジブラルタ生命保険(株) 松山エリア
Tel089-913-8780/Fax089-913-8789

氏の講演「子どもも大人も笑顔になれる社会に」並びに、清水氏と(株)愛媛ジャーナル加藤邦彦氏によるトーク「家庭と学校、地域が子どもを育てる」に二一〇名が参加。教育・政治・経済問題について熱心に研修した。

第四十五回教育懇談会

七月十二日（金）、教育懇談会に仙波隆三県教育長ほか県教育委員会と県内二十一の教育関係団体八十名が参加し、愛媛の教育の在り方等について懇談した。